

学部 / 人間科学領域 / 導入科目

科目コード:110112

フィールド実習 Early Exposure to Community and Understanding of human life

担当教員	科目責任者:川島和代(学部長・看護専門領域・実務経験あり)、担当教員総数30名										
実務経験	複数の教員が担当しており、病院勤務等と教員としてのキャリアを活かした実践的教育を行っている。										
開講年次	1年次前期	単位数	1			授業形態	実習				
必修・選択	必修	時間数	45								
該当ディプロマポリシー	(1)	◎	(2)	○	(3)	(4)	(5)	(6)			
Keywords	人間の理解、社会・環境の理解、生活の理解、情報リテラシー、主体的学習、協同学習、社会人基礎力、フィールドワーク										
学習目的・目標	<p>【目的】 看護の主要素である、人間、社会、環境、生活、労働、健康についての理解を深めるため、学生自らがテーマを設定して、様々な地域の人々の生活の場に出向き実習を行う。人々の日常生活や多様な社会現象に触れ、「人間」を生活者としてトータルに理解することを通して、看護学を学ぶ基礎を養う。</p> <p>【目標】 1. 「人間」と社会、環境、生活、労働、健康等のキーワードを軸に、学生が実習テーマ(課題)を設定することができる。 2. テーマに即したフィールドや対象を選択し、実習を通して人々を取り巻く社会、環境(生活、労働含む)、健康への理解を深めることができる。 3. 自己の体験した学びを整理し、フィールドでかかわった人々やグループのメンバーとの意見交換を通して課題の考察を深め、その学びを発表し、報告書を作成することができる。 4. 大学生として社会人基礎力である<前に踏み出す力><考え抜く力><チームで働く力>を向上することができる。</p>										
授業計画・内容											
回	内容										
1	本授業の進め方・ガイダンス、看護学実習としての位置づけやゼミの進め方、グループ編成、リーダーの選出										
2	グループで実習で取り組むテーマ(「人間」と社会、環境(生活・労働含む)、健康に関する内容)についてフリーディスカッション										
3	事前学習①グループで実習で取り組むテーマについてフリーディスカッションをさらに深める										
4	事前学習②グループで実習で取り組むテーマについてフリーディスカッションをさらに深める										
5	実習計画の立案① フィールド・対象の選択・実習方法の検討(どこで、誰とかかわり、何を観察し、どのような体験をするのか) ※フィールド・対象は、原則、石川県内市町村に在住する住民、各種団体、企業等の人とする										
6	実習計画の立案② フィールド・対象の選択・実習方法の検討(どこで、誰とかかわり、何を観察し、どのような体験をするのか)										
7	実習の準備① 実習フィールドへの依頼、事前打合せ・見学										
8	実習の準備② 実習目標を達成するための具体的な準備(必要な資料・物品の準備、実施する看護技術等の練習)										
9	【フィールド実習】 3日間のうち2日間以上(1日2~4コマ)										
10	1) 現地の実習先で実習テーマ(「人間」と社会、環境(生活・労働含む)、健康に関する内容)や実習計画にもとづき、相手の立場に立った観察、フィールドワーク、インタビュー等を行う。										
11	2) 実習体験を通して感じたこと、気が付いたこと、疑問に思ったことを実習指導者や指導教員、グループメンバー等と積極的に意見交換し										
12	考察する。										
13	3) 実習テーマ(「人間」と社会、環境(生活・労働含む)、健康に関する内容)について、実習先における学生の学びをまとめる。										
14	4) 実習フィールドは、県内各市町村に在住している住民、各種団体、企業等の人を想定して選択する。										
15	5) 担当の指導教員は看護専門領域の実務経験を有する教員を含む専門が異なる複数の教員で学生指導にあたる。										
16											
17	フィールド実習における学びの振り返り、グループ内討論										
18	フィールド実習における学びの振り返り、グループ内討論、学修成果と課題をまとめ、発表内容の準備										
19	フィールド実習における学びを整理、レポート作成、発表用スライド・プレゼンテーション準備①										
20	フィールド実習における学びを整理、レポート作成、発表用スライド・プレゼンテーション準備② 発表練習										
21・22	【フィールド実習報告会】(1グループ7分、質疑応答3分)、学修内容の共有、 ・全体討論(フィールド実習における学びを通して、「人間」を生活者としてトータルに捉え「人間」の理解を広げることができたか、看護学を学ぶ上で「人間の理解」がなぜ重要となるのか) ・まとめ・講評(実習指導者含む)										
23	各グループのまとめ、学修の自己評価、授業評価の記載										
教科書	なし										
参考図書等	各担当グループの指導教員より随時紹介。										

評価指標	出席時間数が全授業時間数の3分の2に満たない場合、本授業科目の評価対象とならない。 実習の取り組み、ゼミ活動での質疑、プレゼンテーション、報告書等総合的に評価する。
関連科目	・アカデミックリテラシーはじめ人間科学領域の科目全般 ・看護専門領域における解剖生理学、代謝と栄養、看護学概論、生活援助論 I
教員から学生へのメッセージ	看護とは、自分ではない他人の感情のただなかに自己を投入する能力が求められます。自分とは異なる社会生活、日常生活を営まれている地域の方々とともに多様な体験をすることを通して、相手の立場で人間や社会、環境(生活・労働含む)、健康に関する現象を考える第一歩にしてほしいと願っています。